

みて!みて!きて!

ミニ情報



あるステーションでの出来事

皆さんは家で不用になった物はどうされていますか?引き出物等、使い道に悩んでいる人もいるのではないのでしょうか。そんな使い道、利用方法はたくさんあると思います。

先日、ごみステーションに、箱に入ったままの物がごみとして出されていました。家庭では不必要とされている物でも、必要とされる人もいます。何でもごみとして捨てるのではなく、利用方法も考えてほしいと思い、大変残念に思いました。利用方法とすれば、地域のバザーとか、リサイクルショップ、またはエコハウスでも、毎年「宝の山市」を開催しながら、不要品も有効利用してほしいという思いで活動しております。まだ有効な資源もごみとして出される物も少なくはありません。ぜひ、もう一度物を大切に作る、もったいないの精神を次の世代につたえていきましょう。もう一つ、他人が出したごみ袋を開けて自分のごみを入れている人がいました。自分の出したごみはそれぞれの責任において、自分の袋で出しましょう。地域の一員としてルールを守りましょう。



このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

《わくわくワーク》ここで行うボランティアの活動をわくわくワークといいます。毎週月曜日と、木曜日10時~4時、わくわく工房にて行っています。

ボランティア随時募集しています。

修理工房よりお知らせ

庖丁とぎ・・・毎週水曜日 午後1時より午後3時まで
 一人1本(無料)

環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルからつくったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売しています。

平成20年8月カレンダー

1	金	
2	土	休館日
3	日	休館日
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	休館日
10	日	休館日
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	休館日
17	日	休館日
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	休館日
24	日	休館日
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	休館日
31	日	休館日

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

ごみ減量はむずかしい

“ごみ”と簡単に言いますが、その分別は楽ではありません。青、赤、緑、の袋に分別して、資源物回収に出すもの、スーパー等に持っていくトレイ、有害ごみ・危険ごみ、業者に処理を依頼する粗大ごみ等、幾つにも分別をしなければなりません。

「これから、歳をしたら大丈夫かしら！」と不安を感じることがありますが、なぜ、ここまで分別をしなければいけないかを考えてみましょう。

最近、テレビで「地球大気圏の二酸化炭素が増加して、地表近くでは気象変動があらわれてきている」と報じていました。大気中の二酸化炭素は、地球の周りをカーテンのように覆ってしまい、地球からの熱が大気に放出されず、温室のように地球を暖めてしまいます。ですから、北極海の氷が溶け出したり、降雨の少ない地域では大地は砂漠化、または干ばつで農作物に影響を及ぼしたり、多くの影響が出てきています。

「何とかしなければ！」と洞爺湖サミットも開かれ、いろいろな形で、地球温暖化防止が騒がれています。でも、今から一人ひとりが何をしたらいいのか、すぐ出来ることは何かを考えてみましょう。

まずは、『3R（リデュース、リユース、リサイクル）』を知って出来ることから実行することだと思います。

いま『明日のエコでは間に合わない』とコマーシャルが流れます。今から意識をもち行動に移しましょう。

たとえば、燃えるごみの中に、生ごみを入れている方はちょっとひと手間、しっかり水分を切ること、土のある人は土に返し堆肥として再利用、土のない人は「ぱっくん」を使いダンボールで生ごみを簡単に処理できます。

ごみは出せば出すほど、費用、環境負荷等、多くの付けが自分達に返ってきます。一人ひとりの努力が必要です。

『ごみ減量も分別も習慣になったら、なんてことはない！』というようになり、ごみ減量も大変という思いではなく、楽しい

体験コーナー

空き缶のリサイクル
牛乳パックのリサイクル
少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします。



申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」(上田クリーンセンター内) 上田市天神 3-11-31 23-5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://ecosupport21.web.infoseek.co.jp/index.html>